TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法-

恵が支配する ローマの信徒への手紙 5:12-21

2026年9月19日 & 20日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。お祈りのリクエストがあります。ジョン牧師とアナさんより、皆さんを心から愛していますが、主によって米国に残りそこで主に仕えるように導かれた、とのお話がありました。神様が引き続きお二人を祝福し導いてくださるように、また私たちがワーシップ・パスターを探す上でも導いてくださるよう、共に祈りましょう。

今日は引き続き**ローマの信徒への手紙**を見ていきます。**ローマの信徒への手紙**では次のようなことを学んできました…

私たちは皆神を創造主として認めず、罪を犯し、神の罰を受けるに値する者です。

しかし律法のほかに、神の義が現わされました。イエスが私たちの身代わりとして罰を受けるために死なれたと信じることで、私たちは義と認められます。

私たちは神との平和を得、神の恵みと栄光の希望に在って立ち、苦痛と共にイエスを私たちのために死なせた神を誇りとするようになります。そうすることで、私たちがまだどれほど罪深い者であっても、義と認められ、赦され、変えられ、神の御前で神の命を生きることができるのです。

今日は、イエスの死と復活がどのようにして多くの人々を救うことが出来るのか見ていきましょう。まず、祈りましょう。

II 恵みが支配する

(1)死が支配した

ローマの信徒への手紙 5:12 を開きましょう。**「12 このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、すべての人に死が及んだのです。すべての人が罪を犯したからです。」**

ある一人の人、すなわちイエスの死が、なぜ私たち全てに命を与えることができるのかを理解するためには、最初にどのようにして「死」が訪れたのかを理解する必要があります。多くの人は、「死」は自然現象だと考えています。しかし聖書によると、アダムが罪を犯した時に「死」がこの世に入り込んだのです。そして「死」はすべての人へと広がっていきました。

なぜでしょうか。それは、アダムが罪を犯したとき、すべての人が罪を犯したからです。だからこそ、すべての人が死ぬことになるのです。私たちがこのことを理解出来なければ、救いについて本当に理解することは出来ません。

ヘブライ語で「アダム」は「人類」を意味します。神は「アダム」を、全人類の代表者として創造されました。これは「アダム」と全人類は一つであるということです。私たちは皆アダムに象徴されたのです。アダムは私たち全員です。アダムが罪を犯したとき、私たち皆も罪を犯したのです。

彼はある国を代表する大使のような存在です。大使とは自国を代表して行動する人物のことです。大使が協定に署名するとき、その国のすべての国民を代表して署名するのです。そして、国民全員がその協定に拘束されることになります。

それゆえ、アダムが罪を犯した時、私たち全員が罪を犯しました。 **13－14節「13 確かに、律法が与えられる前にも罪は世にあったが、律法がなければ、罪は罪と認められません。14 しかし、アダムからモーセまでの間にも、アダムの違反と同じような罪を犯さなかった人の上にさえ、死は支配しました。このアダムは来るべき方の雛型です。」**

つまり「罪」は「律法の前」にあったのです。
「律法がなければ、罪は罪と認められません。」とありますが、パウロは、彼らの罪が全く罪として数えられなかったと言っているわけではありません。単に彼らはアダムの罪のように具体的に説明できる罪に帰せられなかった、というだけです。アダムは「その実を食べてはならない」と命じられましたが、それを破ったのです。

いまだに「アダムからモーセまでのあいだも死は支配した」状態です。何故なら私たちは皆アダムの罪と罪深い性質を分かち合っており、モーセに律法が与えられる前でさえ、私たちは皆死の支配下にありました。

「このアダムは来るべき方の雛型です」とはつまりイエスです。

このことから「アダムが私たちとどのような関係にあるか」および「アダムの行いが私たちにどのような影

響を与えるか」を理解することは、「イエスが私たちとどのような関係にあるか」および「イエスの行いが私たちにどのような影響を与えるか」を理解するための鍵となります。

アダムが神によって任命された全人類の代表者であったように、イエスもまた神によって任命された、イエスを信じるすべての者の代表者です。

アダムが全人類の代表として行動したように、イエスもご自身を信じるすべての者の代表として行動しました。

アダムの行動の結果が全人類に及んだように、イエスの行動の結果はイエスを信じるすべての者に及ぶことになります。

(2)恵みが来た

しかし、両者には違いがあります。**15-16 節:「[15] しかし、恵みの賜物は過ちの場合とは異なります。一人の過ちによって多くの人が死ぬことになったとすれば、なおさら、神の恵みと一人の人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、多くの人に満ち溢れたのです。[16] この賜物は、一人の犯した罪の結果とは異なります。裁きの場合は、一つの過ちであっても、罪に定められますが、恵みの場合は、多くの過ちがあっても、義と認められるからです。」**

一人の人間アダムの過ちによって、多くの人が死と裁きと罪の宣告を受けた。イエスの賜物と恵みそして十字架の死によって、多くの人が義と認められ満ち溢れる恵みを受ける。

そしてこれが最終的な結果です。17 節「[17] 一人の過ちによって、その一人を通して死が支配するようになったとすれば、なおさら、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人たちは、一人の人イエス・キリストを通して、命にあって支配するでしょう。」

最終的に、アダムの過ちによって、全人類を「死が支配するようになった。」 イエスの「満ち溢れる恵み」と「義の賜物」によって、私たちは「命、すなわち神の命にあって支配する」ことになる。

「ヨハネの手紙一」を学んだとき、「神の命」または「永遠の命」がろうそくの灯のようなものであることを学びました。

ろうそくに火を灯すと光が放たれます。もし私たちがそのろうそくのある部屋にいれば、光を得ます。しかし、その光は私たちの中にあるのではなく、ろうそくの光そのものの中にあります。ろうそくがなければ、私たちには光はありません。

同じように神は「命の源」です。もし私たちがイエスを通して神と交わりを持つなら、命を得ます。私たちは神に何でも願うことができます。神は御言葉と聖霊を通して、私たちを導いてくださいます。

神は私たちが神を完全に「信頼」し、神に「服従」し、信仰によって神が望まれる「すべてのこと」を行うための「力」を与えてくださいます。このことから、私たちは神とともに「命にあって支配し」、「罪深い肉体を支配する」ことになります。私たちの生き方は完全に異なるものとなるのです。

(3)永遠の命へと導く

18-19 節:「[18] そこで、一人の過ちによってすべての人が罪に定められたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。[19] 一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたように、一人の従順によって多くの人が正しい者とされるのです。」

アダムの「一人の過ち」が「罪に定められる」ことにつながり、イエスの 「一人の正しい行為」がすべての人が「義とされ」「命を得る」ことにつながるのです。

しかし法律はどう関わってくるのでしょうか？ **20-21 節:「[20] 律法が入り込んで来たのは、過ちが増し加わるためでした。しかし、罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ち溢れました。[21] こうして、罪が死によって支配したように、恵みも義によって支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命へと導くのです。」**

「律法が入り込んで来たのは、過ちが増し加わるためでした。」と言っていることに注目してください。

これは、ユダヤ人たちや私たち多くの人たちが信じていたこととは正反対でした。多くの人は律法が与えられたから、自分たちは過ちを犯すことをやめられて、義にかなった生活を送ることが出来る、それは過ちや罪を増し加えるためではない、と考えていました。

律法はおもに私たちに罪を気付かせることで「過ちを増し加える」のです。

＃1「**律法は何が罪であるかを教えてくれる**」例えば、イエスは「怒ることは殺人に等しい」と教えられ、また聖書には「何事も不平を言わずに行いなさい」と書かれています。

このことを知るまでは、私たちは怒り、不平を言う権利を持っていると思っていたかもしれません。しかし罪が明確に定義されると、突然、私たちは創造主に対して罪を犯していることに気付かされるのです。

＃2「**律法は私たちが神に反抗的であることを教える**」通常、私たちの良心は何が正しくて何が間違っているかを教えてくれます。しかし罪に囚われていると、私たちはそれを正当化しようとします。しかし神の律法である聖書は、私たちに罪を自覚させ、私たちが創造主に反抗していることを教えてくれるのです。

旧約聖書で、ダビデ王はバト・シェバと姦淫の罪を犯し、その罪を隠すために彼女の夫を殺害しました。彼は自分が間違ったことをしたと自覚していました。

しかしそれは預言者ナタンが、ダビデが神と神の言葉に対して罪を犯したことを指摘したときに、ダビデは本当に罪を自覚させられたのです。

＃3「**律法は私たちがどのように罪に支配されているかを教える**」私たちは自分自身を完全にコントロールできていると思っているかもしれません。ポルノを見ているかもしれないけど特に影響はない、と思うかもしれません。しかし、聖書の「情欲を抱いて女を見るな」と書かれている箇所を読んだとしましょう。私たちは「わかった、もう見るのを止めます」と言うでしょう。

そして見ることを止めようとします。その時気付くでしょう「止められない、わたしは囚われているんだ…本当に止められない。」それは「不品行な関係」「噂話」「赦せない心」あるいは「その他の罪」かもしれません。私たちは自分が完全に無力で罪深いことを悟ります。その時、イエスに立ち返り助けを求めます。

良いニュースとして、パウロは 20 節でこう述べています。**「しかし、罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ち溢れました。」**

アダムとエバが罪を犯して禁断の果実を食べたとき、神はあらわになった彼らの恥を覆うために、動物を犠牲にされました。罪が増したところには、恵みがなおいっそう満ち溢れました。

モーセが神に対して罪を犯した時、彼は約束の地に入ることを禁じられました。しかしその後、山上でイエスの姿が変わる場面で、モーセが神と共にイエスの前に現れる様子が見られます。これが恵みです。罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ち溢れました。

ペテロがイエスを三度否定した後、イエスは彼に現れました。そして彼を責める代わりに私の羊を飼いなさいと言われました。これは他の弟子たちを気遣うという意味です。これが恵みです。

もしかしたらあなたも、神や神の言葉に対して罪を犯しているかもしれません。あなたは自覚していて、そしてそのことが心を悩ませているかもしれません。

- 噂話や誰かの中傷によって、その人の評判を傷つけているのかもしれません。
- 仕事や家族、友人から何かを盗んでしまったのかもしれません。
- あるいは、赦せない心、違法行為、不品行な関係、あるいはポルノの視聴といったことかもしれません。

かつて、自分はまともなクリスチャンだと思っていたのに、今では二流、あるいは三流のクリスチャンのようだと感じたり、神からあまりにも遠ざかってしまい、もう後戻りできないところまで来てしまったと感じたりしているかもしれません。

パウロはこう言っています。「罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ち溢れました。」　私たちから神の恵みを阻むものは何一つありません。「アダム」の罪も、「モーセ」の罪も、「ペテロ」の罪も、「あなた」の罪でさえも阻むことはできません。

まだ遅くはありません。イエスに自分の罪を告白してください。そうすれば、あなたは義とされます。罪はその力を失います。死はあなたを支配しなくなります。その代わりに、恵みがあなたの内に支配するようになります。

あなたはイエスの赦しと助けを受けるでしょう。あなたは命にあってイエスと共に自分の罪を支配するでしょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg3826jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9 月 20(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

★クラス 210
スモールグループについて知ろう！
10 月 3(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み：
https://t-b-c.us/classes

急募！

奉仕者募集中！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。
・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 ケ月半～2ケ月に 1 度、自宅でできます。
スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org